

横浜市役所で、親子のアートイベント開催

横浜トリエンナーレ「わくわくアートひろば」

3/16(土)から3/20(水・祝)まで

横浜トリエンナーレ組織委員会及び横浜市は、第8回横浜トリエンナーレ開幕直後の3月16日（土）から20日（水・祝）までの5日間、横浜市役所アトリウムで、横浜トリエンナーレファミリーイベント「わくわくアートひろば」（以下、本イベント）を開催します。

本イベントでは、乳幼児や小学生のお子さんご家族がアートに触れながら一緒にゆっくりと過ごすことができます。

絵を描いたり工作が自由にできる「わくわくアートゾーン」、寝転びながら本が読める「ごろごろライブラリー」、横浜の海から回収された流木などを使ったワークショップが体験できる「展示・WSゾーン」などを展開します。参加は無料です。

アートに触れる機会が少ない方、横浜トリエンナーレに来たことがない方も気軽に立ち寄りお楽しみいただけます。

■開催概要

横浜トリエンナーレ ファミリーイベント@横浜市役所「わくわくアートひろば」

WEBサイト <https://www.yokohamatriennale.jp/2024/events/3181>

開催日時：2024年3月16日(土)～3月20日(水・祝) 11:00～15:00

※各プログラムの実施時間は
WEBサイトをご確認ください。

会場：横浜市役所アトリウムほか
(横浜市中区本町6-50-10)

参加費：無料

参加申込：
申込不要で遊んでいただけます。
* ご注意
「展示・WSゾーン」で行うワークショップは予約が必要です。
別途ホームページからご確認ください。

■お問い合わせ

横浜トリエンナーレ組織委員会
わくわくアートひろば担当
TEL 045-671-2278 (平日9:00～17:00)
E-MAIL info@yokohamatriennale.jp

■主催・協力

主催：
横浜トリエンナーレ組織委員会
横浜市
協力：
急な坂スタジオ
横浜市資源循環局3R推進課
横浜市環境創造局みどりアップ推進課
環境演出：
有限会社スタジオニブロール

わくわく アートひろば

わくわくアートゾーン 急な坂スタジオ × 佐々 瞬

ミルクを飲みながら
絵を描いたり、工作したりして、
みんなで好き勝手に新しい美術館を作る。

ワークショップ
日程 16(土)～18(月)、20(水・祝)
対象 0歳～どなたでも
定員 なし
参加費 無料
申込 不要

絵を描いたり、工作したりして、みんなで好き勝手に新しい美術館を作ります。作るよりお話しが好きな子は、他の子が作った作品を紹介するガイドも作ってみよう。美術館で大きな声を出したくならどうしよう？大きなヘルメットみたいな叫んでいい霜も作ってみよう。みんなが作るこの美術館では寝転んでいるだけでも大丈夫。

おもいでリラックスゾーン
みんなの「おもいで」から、
横浜トリエンナーレを紹介。

ごろごろライブラリー
芝生でごろごろしながら
本を読んだり、ジャンプしたり。

※「おもいでリラックスゾーン」ごろごろライブラリーは、19火はありません

展示・WSゾーン 資源循環局
企画・協力: 玉川大学 田中敬一デザイン・プロジェクト 協力: 株式会社カネカ

**【展示】まだ見ぬ光の
テラスRYUGUへ**

海を取り巻く環境は、様々な課題を私たちに投げかけています。RYUGUは、海が持っている美しい本来の姿を、海から回収された木材やプラスチックなどを用いて、幻想的な光景とともに提示します。ワークショップでは、横浜の海で回収した流木などを使い、お魚やカメなどを作ります。

ワークショップ
日程 16(土)、17(日)、20(水・祝)
対象 小学生と保護者
定員 20組/日
参加費 無料
申込 予約制
※詳細は市HPへ

展示・WSゾーン
環境創造局 × ガーデンネックレス横浜

**「ガーデンペア」もあそび
にくるよ!**
フラワーアフロが自慢のガーデンの妖精に、ぜひ会いに来てね!

日程 20(水・祝)
①11:20～②13:00～③14:20～
各回約20分

第8回 横浜トリエンナーレ 野草: いま、ここで生きてる

プレスリリース
2024年3月7日

■イベント概要

次の4つのゾーンでそれぞれの企画が展開されます。

○わくわくアートゾーン ミルクを飲みながら

(協力: 急な坂スタジオ、佐々 瞬)

横浜市の創造界隈拠点の一つ急な坂スタジオと、アーティストの佐々瞬さんにより、展覧会のテーマ「野草: いま、ここで生きてる」のテーマに共鳴してつくりあげた企画です。絵を描いたり、工作したりして、みんなで新しい美術館をつくるワークショップで、0歳からどなたでもお楽しみいただけます。



ミルクを飲みながら参考画像

○おもいでリラックスゾーン

昨年公募した横浜トリエンナーレの思い出をパネル展示し、横浜トリエンナーレの活動を紹介します。

○ごろごろライブラリー

大きな芝生の上で、乳幼児から楽しめるアートに関する絵本や本を読んだり、遊具の上でジャンプしたりして遊ぶことができます。



わくわくアートゾーン

○展示・WSゾーン

【展示】まだ見ぬ光のテラスRYUGUへ

(協力: 横浜市資源循環局 3R推進課)

(企画・協力: 玉川大学 田中敬一デザイン・プロジェクト)

(協力: 株式会社カネカ)

海を取り巻く環境の課題を表現した展示や、横浜の海で回収した流木などを使ってお魚やカメなどを作るワークショップなどがあります。



ごろごろライブラリー

「ガーデンベア」もあそびにくるよ！

(協力: 環境創造局みどりアップ推進課)

インフォメーションでアンケートにお答えいただいた方には、ノベルティをプレゼントします。

横浜トリエンナーレの「次世代育成」事業について

ー8回展では子どもやファミリー、アートビギナーも安心のプログラムを多数ご用意

横浜トリエンナーレ組織委員会では、第1回展(2001年)から第7回展(2020年)までに、未来を担う世代を対象として、アーティストやアート専門家による多彩なワークショップの開催、市内の児童・生徒への鑑賞ポケットガイドの配布、学校団体の鑑賞受入れなどを行ってきました。また、前回の第7回展(2020年)では、身体的制約などにより外出が難しい人を対象とした遠隔地からの鑑賞会などを実施しました。

第8回展では、子どもやファミリー、美術館にあまり馴染みのないアートビギナーや若者を対象に、アート以外の専門家の協力を得て現代アートに親しむプログラムを多数用意します。これらは「パブリックプログラム」として、会期中に開催されます。

第8回 横浜トリエンナーレ 野草: いま、ここで生きてる パブリックプログラム

「パブリックプログラム」は、展覧会で作品を鑑賞するだけでなく、つくったり、しゃべったり、考えたり、子どもから大人まで、お友だちやご家族と一緒に「野草」のテーマをいろいろなかたちで楽しめるプログラムです。

一覧は、WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.yokohamatriennale.jp/2024/events>

【プレスリリースお問い合わせ】 第8回横浜トリエンナーレ広報事務局(株式会社ブラップジャパン: 本郷、藤井、畑野)

E-MAIL: yokotoripr@prap.co.jp TEL: 080-5887-1091 (平日9:30~18:00)

【横浜トリエンナーレ組織委員会お問い合わせ】 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 広報担当(石川、里見、頼政)

E-MAIL: press@yokohamatriennale.jp TEL: 045-663-7232 (平日10:00~18:00)

広報用画像貸出等プレス向けサイト: <https://www.yokohamatriennale.jp/press/>